



つくば市議会だより

SUKUBA-28

議会をもっと知りたくなる情報紙

3月定例会 No.166
 令和3年(2021年)5月1日発行
 発行：つくば市議会
 編集：広報広聴委員会

会派代表質問	P2～4
一般質問	P4～8
第1回臨時会	P8
委員会・分科会審査	P9
委員会審査・議案等審議・賛否	P10
議決結果	P11
特集	P12

筑波山地域ジオパークが日本ジオパークに再認定されました！

つくば市議会は、今後も6市議会と連携を図り、筑波山地域ジオパークのさらなる盛り上がりの創出に向けまい進していきます！



筑波山地域ジオパークとは？

これまでの活動は？

などなど・・・

▶ 詳しくは **12ページ**へ

予算決算委員会 で 令和3年度当初予算 を審査しました

市長から提出された令和3年度当初予算案について、全体会及び各常任委員会分科会にて審査しました。

(総務・文教福祉・市民経済・都市建設)



▶ 主要施策は **2ページ**へ

▶ 審査内容は **9ページ**へ



令和2年度議会報告会をYouTube配信しました！

▶ 詳しくは **12ページ**へ



つくば市議会チャンネル

つくば市議会チャンネルで配信中
チャンネル登録をお願いします

3月定例会ハイライト

- 会派代表質問 4名の議員が施政方針を問う
- 一般質問 16名の議員が白熱の議論を展開
- 議案審議 議案など82件、請願2件、意見書案3件を審議

第1回臨時会ハイライト

- 議案審議 議案など2件を審議

6月定例会開催予定

- 6月3日(木) 開会
- 10日(木) 一般質問
- 11日(金) 一般質問
- 14日(月) 一般質問・総括質疑・予算決算委員会
- 16日(水) 予算決算委員会(総務・文教福祉) 総務委員会・文教福祉委員会
- 17日(木) 予算決算委員会(市民経済・都市建設) 市民経済委員会・都市建設委員会
- 22日(火) 予算決算委員会
- 25日(金) 討論・採決・閉会



6月定例会スケジュールはこちら

主要施策と当初予算

令和3年3月市議会定例会の開会日に、五十嵐市長が「令和3年度市政運営の所信と主要施策」について述べました。

※詳細は広報つくば4月号または市ホームページをご覧ください。



市政運営の所信と主要施策の概要

令和3年度
当初予算額
1,495億
1,283万円

一般会計	897億 1,300万円
特別会計	343億 2,365万7千円
水道事業会計	87億 7,710万5千円
下水道事業会計	166億 9,906万6千円

主要施策の6つの柱

1 徹底した行政改革

先端技術活用
SDGs
スマートシティ

2 安心の子育て

子育て支援
保育士処遇改善
ICT教育環境

3 頼れる福祉

障害福祉
高齢者
ひとり親

4 便利なインフラ

防災対策
道路維持管理
スマートIC

5 活気ある地域

ジオパーク
空き家対策
学校跡地

6 誇れるまち

オリ・パラ推進
フットボール
スタジアム

会派代表質問

会派の構成議員数が3人以上の会派から、会派を代表して1人が行います。

今定例会では、4会派の代表者が市長の「令和3年度市政運営の所信と主要施策」に対して質問を行いました。

つくば自民党
・新しい風



質問者
黒田 健祐 議員



代表
黒田 健祐
久保谷 孝夫
ヘイズ ジョン
五頭 泰誠
小久保 貴史
神谷 大蔵
長塚 俊宏

安心の子育て
について

質問 ①保育行政の現状と課題についてお聞かせください。

②保育行政を担う民間保育所に関する市長の考えをお伺いします。

【答弁】 ①現状、子ども・子育て支援プランに基づき、民間保育施設の整備を進め保育の受皿を拡充していますが、保育需要の高まりから、令和2年4月時点で待機児童数は42人と県内最

多となっております。課題として保育士の確保が挙げられるため、今後も保育士などへの処遇改善助成金を継続し人材の確保をしていきます。②市全体の保育の質向上のため市民や民間保育園の方々とともに「つくば保育の質ガイドライン」を策定しており、今後も民間保育協議会などと定期的な意見交換を行い、保育現場の声を反映し、保育環境を充実させていきます。

【質問】 教育大綱の理念を学校現場で体現して行くに当たり、現状の課題と今後の展望をお伺いいたします。

【答弁】 現在、校長会での研修会で議論をしたり、市の指導主事による学校訪問時にその理念を授業にどう反映させるかを示しつつ、教育大綱の理解を促しています。全教員に向けたメッセージを発信し、「教えから学びへ」の考え方の学校現場への浸透に努力しています。また、3月には教育大綱の具現化を目指す「第3期つくば市教育振興基本計画」を策定します。さらには、「令和3年度学校教育指導方針」にも、教育振興基本計画の目標を反映させた授業並びに学級経営の具体的な考え方や方法を示すなど、大幅な改定を予定しています。今後は、これ

活気ある地域
について

らの取り組みを通して、子どもたちが夢に向かってよりよい未来をひらく「学び」を実現していきます。

【質問】 市長のマニフェストには活気ある地域、地元産業の持続的な発展、「総合評価方式の拡充等さらなる入札改革」と掲げられています。この「さらなる入札改革」について市長の見解を求めます。

【答弁】 入札改革の具体的な取り組みとしては、特別簡易型総合評価方式による入札の拡充や、今後予定されている学校建設などの大規模事業で、市内企業も参加できるよう市内企業を含めた共同企業体への発注を積極的に行ってまいります。また、昨年8月から入札制度検証チームを庁内で組織し、入札制度運用方針やランダム係数などの運用状況を検証してきました。今後は、検証結果を踏まえ、議会とも対話を重ねつつ、品質の確保や経済性、市内企業の育成などに資するよりよい入札制度となるよう改善してまいります。

自民党
政清クラブ



質問者

飯岡 宏之 議員



代表

飯岡 宏之
鈴木 富士雄
塚本 洋二
木村 修寿
宮本 達也

つくばセンタービル
リニューアルについて

質問 つくばセンタービルリ
ニューアルについて、Bivi
つくばでのオープンハウスに貼
られた展示パネルには総費用
10億円と書いてあります。市民
生活や地域経済への影響などの
視点からも大規模事業の基本方
針に則った市民への説明を行う
べきと思いますが、市の方針を
お聞きしたい。

答弁 つくばセンタービルリ
ニューアル事業については、概

算事業費が10億円未満であると
ともに、新たな施設の整備では
なく、既存施設のリニューアル
事業であることから、大規模事
業評価には当てはまらないと判
断しました。

つくばセンタービルの課題と
しては、動線が分かりにくいこ
とや施設が老朽化していること
など、利用者にとって使いにく
い箇所が顕在化しています。そ
のようなことから、今計画では、
持続可能都市の拠点となるシエ
アガーデンを目指し、新たな市
民活動拠点や市民窓口、働く人
を支援する場を設置するととも
に、ノバホールの小ホールを改
修するなど、市民サービスの向
上を図るリニューアルを実施す
る予定です。



つくばセンタービルとつくばセンター広場

周辺市街地活性化の
エリアマネジメント
について

質問 中心市街地には、まち
づくり会社に6千万円もの出資
をし、多額の費用をかけてつく
ばセンタービルリニューアルを
行います。しかし、周辺市街地
は8カ所まとめて少額の予算で
ある上、市民の自発的な取り組
みに任せるようですが、周辺部
にももっと予算をかけてエリア
マネジメントを行い、活性化を
図る予定はないか伺います。

周辺市街地と中心市街
地について根本的に構造が違う
部分として、中心市街地にはそ
のまちづくりを主体的に担うプ
レイヤーがないという状況で
したのでエリアマネジメント団
体を立ち上げる必要があると考
えています。一方、周辺市街地
は地域の皆さんが今さまざまな
活動を主体的に行っていますし、
そこに対してまちづくりに知見
のある企業の協力もいただきつ
つ、これまで協議会で議論を積
み重ねてきました。そこで会社
に市が出資してエリアマネジメ
ントの団体を立ち上げることは、
皆さまの主体性にマイナスに
なってしまう要素があるのでは
ないかと考えています。

つくば・
市民ネットワーク



質問者

小森谷 さやか 議員



代表

小森谷 さやか
皆川 幸枝
あさの えくこ
川村 直子

スーパーシティにつ
いて

質問 (通称)スーパーシティ
法案は幾度か見送りとなったの
ち、昨年5月コロナ対応に追わ
れる中、短い審議時間で採決に
持ち込まれました。条文に住民
合意や個人情報保護について明
記されていないため15もの附帯
決議が付いており、実施に向け
極めて不整備な状態と言わざる
を得ません。市では、取り組み
をチェックし歯止めをかける仕
組みを検討していますか。また、

市が負担する予算の規模はどの
程度ですか。

答弁 スーパーシティの取り
組みを随時チェックする仕組み
については、例えば、サービス
を止めたいときに簡単に止める
ことができる仕組みになってい
るか、事業者が取得したデータ
が適正に取り扱われているかな
ど、利用者の権利や利益を保護
する観点でのチェックリストを
作りたいと考えています。

また、全体予算については、
現在、先端的サービスの内容や
費用について、事業者と検討を
進めているため、現段階で総額
を申し上げることができません
が、国の補助事業や民間資金の
活用に努めるとともに、実施す
る先端的サービスと目的を同じ
とする既存事業の効率化も併せ
て検討し、必要経費を確保する
予定です。

会計年度任用職員
について

質問 2020年度から非正
規職員は会計年度任用職員とな
りました。制度がスタートして
1年が経過しますが、その現状
と認識を伺います。会計年度任
用職員の人数と男女比率、全職

員に対する割合とフルタイムか
らパートタイムになった割合を
教えてください。

答弁 令和2年4月1日現在
1557人で、うち男性は18
7人で全体の12%、女性は13
70人で全体の88%です。また、
全職員に対する割合は44・1%
です。フルタイム勤務者の占め
る割合は、平成31年4月1日現
在で23・5%、制度開始後の令
和2年4月1日現在で5・3%
となり、必要な勤務時間を人事
課と関係部署で協議し、見直し
たことで、フルタイム勤務者の
割合が下がりました。

質問 本来正規職員として継
続的に雇用すべきであるのに非
正規の形で雇用の調整弁になっ
ているのは問題であり、結果と
して住民サービスの低下にもつ
ながると危惧しています。また、
保育士や窓口業務、各種支援員、
相談員など女性の比率が高い職
種が多く、このことから「女性
の非正規労働問題」とも語られ
ています。市長の見解を伺います。

答弁 今後も正規職員と会計
年度任用職員の役割分担により、
安定した行政サービスを維持し
つつ、職員全体の働き方や処遇
の改善に向けた調査研究や適正
な職員数確保に努めていきます。

公明党つくば



質問者

小野 泰宏 議員



代表

小野 泰宏
浜中 勝美
山本 美和

若者たちが希望を
持てる社会の構築
を

質問 コロナ禍の今、多くの
方々が大変な状況にあります
今後のまちづくりの担い手とい
う観点に立てば、若者たちの仕
事を巡る状況が、厳しさを増し
ていることを踏まえ、若者
たちが希望を持っていない社会であ
れば、とても持続可能なまちづ
くりは描けないと考えます。つ
くばで生まれ育った若者たちが、
地域社会や将来に希望を持ち、
つくばに住み続けられるために
はどうすればよいか。市長の現

状に対する基本的な認識や考え
について伺います。

答弁 持続可能なまちづくり
については、市民が地域に愛着
を持ち、ずっと住み続けたいと
思えるような施策を一貫して展
開してきました。特に、将来
的に人口減少が予想される中
で、未来の世代につくばの資産
を継承し、住み続けてもらうた
めには、若者が働きがいを感じ
る地域づくりが重要であると考
え、創業やスタートアップの支
援、市内企業の安定経営や新分
野にチャレンジするための支援
など、地域産業振興の取り組み
を幅広く進めています。

さらに、市内企業と若者の
マッチング機会を創出し、U-
Jターン就職を含めた就労支援
を行うことで、若者の地域定着
の流れをさらに加速させ、持続
的に発展する魅力あるまちを現
現してまいります。

課題を共有し、「誰
一人取り残さない
つくば」の構築を

質問 「誰一人取り残さない」
包摂の精神を醸成していくため
には、「課題は、多職種・各課・
各機関の連携を生み出し育む存
在である」との意識に立ち、連
携しながら互いの強みを生かし、

支援していくことが重要です。
さらに、対応する職員の業務量
に対する考慮や広く取り組みを
推進する方々をサポートするた
めの研修や能力開発も大切であ
ると思います。コロナ禍におい
て、「さまざまな困難を抱えた
方々」に向けての市長の思いや
考えについて伺います。

答弁 「誰一人取り残さない」
包摂の精神の下、「頼れる福祉」
の実現に向けて、市職員、民生
委員やふれあい相談員などの多
職種が連携し、市民が抱える諸
問題を積極的に捉えることは、
課題の解決に取り組む上で重要
であると認識しています。

市民が抱える諸問題は複合
化・複雑化しており、対応する
職員の業務負担も増加傾向にあ
りますので、より効率的に業務
に取り組めるよう心掛け、職員
の負担軽減に努めていきます。
また、地域福祉の担い手である
民生委員やふれあい相談員、市
職員には、自殺防止対策のため
の「ゲートキーパー研修」など
のさまざまな研修を行い、より
質の高い効果的な支援に結びつ
けていきます。



学校給食センターについて



木村 修寿 議員

自民党政清クラブ



質問 市では現在4カ所の学
校給食センターを運営していま
すが、つくばエクスプレス沿線
の区画整理事業などによる人
口増加に伴い児童生徒数も増
え、小中学校の新設計画も予定
されていることから、今後給食
の提供食数の不足も考えられま
す。①今後の提供食数、②今後
の修繕・建て替え計画、③今後
の課題、④配送計画がどうなる
か、⑤アレルギーの対応につい
て伺います。

答弁 ①現在、約2万450

0食提供しており、令和11年度
には約2万9千食が必要になる
と想定しています。②必要食数
に対する敷地面積や児童生徒数
急増に対応するスケジュールな
どの諸条件から改築は困難と判
断し、校舎給食センター跡地
に新設を計画しています。③荃
崎学校給食センターの老朽化対
応が課題であり、新しい給食セ
ンター供用開始後に廃止予定で
すが、稼働中は必要な修繕を行
い施設機能の保全維持に努めま
す。④新しい給食センター開所

公立幼稚園で4月も給食提供を！



川久保 皆実 議員

つくばチェンジ
チャレンジ



質問 公立幼稚園の運営に関
し、①4月・5月および長期休
み前後の給食提供、②降園時刻
の繰り上げ(13時降園)につい
て、現状と今後の改善方針を伺
います。

答弁 ①現状の運営では、4
歳児・5歳児ともに4月から5
月の大型連休明けまでは給食が
提供されず、お弁当持参となっ
ています。令和3年度は、5月
6日から給食の提供を開始する
予定です。また、長期休みの前
後は、給食を提供していません。

今後の方針としては、各幼稚園
で配膳員確保や食物アレルギー
対応の個別面談スケジュール調
整などの課題があるため、令和
3年度は準備期間とし、令和4
年度より、4歳児・5歳児とも
に4月から給食を提供できるよ
う検討します。また、長期休み
の前後についても令和4年度か
ら給食を提供できないか検討し
ます。②現状の運営では、13時
降園日は、1学期終業式、2学
期始業式、年5回の職員研修日、
翌年度入園児健康診断および入

後は、配送距離や時間、給食提
供数から、配送計画を再度検討
します。荃崎地区の配送は、つ
くばほかから給食センター谷田
部が適切と考えています。⑤既
存の4給食センターのうち2カ
所は食物アレルギー専用調理室
があり、新しい給食センターも
食物アレルギー対応が可能です。
市内のアレルギー対応に差異が
あるので、食物アレルギー対応
除去食の
個別配送
も含めて
検討しま
す。



このほか、シルバー人材セン
ターについて質問しました。

園児説明会の年間9日あります。
今後の方針としては、令和3年
度から、1学期終業式と2学期
始業式を通常時刻の降園とし、
13時降園を年間7日にしたいと
考えています。
要望 改善方針の実施に当た
り、職員の負担をできる限り抑
えるような措置(配膳員の確保
など)も併せて講じることを要
望します。

このほか、公立保育所の主食
提供(19保育所の提供開始時期
など)、市職員の時間外勤務(長
時間労働の実態・改善方針など)
について質問しました。



神谷 大蔵 議員

つくば自民党・新しい風



観光行政(渋滞対策)について

質問 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光需要を回復する観点から観光行政について質問します。筑波山観光での最大のボトルネックである県道渋滞と登山道渋滞。県や市、関係機関で「筑波山周辺渋滞対策協議会」が設置され、実施した対策内容と結果について伺います。

答弁 昨年に筑波山の渋滞対策として、横断幕や看板の設置による迂回誘導と市営駐車場への警備員配置、リアルタイム

頂付近の動線改善や下山方法の再検討が必要だと分かりました。

要望 抜本的な対策として県道においては、新たな駐車場整備や山麓の土地を利用したパークアンドバスライドなどの検討と登山道で

は案内看板の設置など、迅速な対応を強く要望します。



このほか、鳥獣被害(イノシシ他)防止対策、つくば霞ヶ浦りんりんロード桜並木の管理計画、旧筑波東中の跡地利用、筑波地区支線型バスの状況について質問しました。



塩田 尚 議員

山中八策の会



新型コロナウイルス対策について

質問 ①つくば市でのワクチンの接種の方法、②副反応を気にする市民への対策、③市内業者と離職者への支援、④感染者やその家族が職場や学校などで偏見・差別を受けないための市の取り組み、⑤今年の梅まつりは延期して開催されたが、このような時には静かな観梅が望ましいと思われるが、どのように実施しているかについて伺います。

答弁 ①市内のワクチン接種は、医療従事者などを対象に3

月から開始し、4月から65歳以上の高齢者、その後基礎疾患を有する方など、それ以外の方の順に行う予定で準備を進めています。②健康被害が生じた場合は、予防接種法に基づく救済が受けられます。③他市に先駆け市独自の13支援事業を実施し、離職した市民の雇用先確保のため、市民を新たに雇用する市内事業者に対し、常勤1人当たり最大20万円、非常勤1人当たり最大10万円として、1事業者最大100万円助成する市独自事

業を実施しています。④正しい知識を広めるため、啓発チラシを作成して公共施設や医療機関などへ配布するほか、市広報紙やホームページで周知しています。⑤県独自の緊急事態宣言の延長に伴い延期したが、解除を受けて2月26日に開会し、ガマ口上や梅茶サービス、野立て茶会などを中止し、首都圏への広報活動を控えて開催しました。

このほか、今年の成人式を中止した理由や来春の民法改正に向けた今後の方針、行政デジタル化の目的・方法と成果について質問しました。



山中 真弓 議員

日本共産党 つくば市議団



保育所、学童保育所に慰労金の支給を

質問 医療・介護・障害者施設の従事者には、国から慰労金の支給がありました。しかし、保育所や学童保育所は対象外のため支給されていません。保育所・学童保育所の従事者に慰労金支給の考えはないかお聞きします。

答弁 保育所、学童保育現場の従事者については、新型コロナウイルス感染症の影響下において、就労などのやむを得ない理由により、保育できない保護者に対して多大な貢献があった

と考えています。慰労金に関しては、独自での支給を既に実施または予定している自治体があることを認識しています。今後は、国の対応や他自治体の取り組み状況の調査をすることも、支給に係る研究をしていきます。



橋本 佳子 議員

日本共産党 つくば市議団



給食センター基本計画について

質問 児童急増に対応するため、つくば市立学校給食センター整備基本計画の見直しの必要性を求めてきました。前教育長は自校方式の給食は地産地消・食育の点でも良いと評価をしていましたが、つくばほがらか給食センター谷田部は1万2214食提供しており、調理能力1万2千食を超えています。ガイドラインに掲げている子どもたちに提供する食の安全や地産地消といった面での課題について聞かせてください。

答弁 つくばほがらか給食センター谷田部の給食提供数は、調理能力とほぼ等しく、今後必要食数が増加した場合の対応が懸念されるので、その際は配送校を見直し、市全体のバランス調整を予定しているという課題があります。子どもの食の安全や地産地消については、つくば市の学校給食における地産地消推進ガイドラインに基づき、地産地消率の向上や保湿度の高い食缶の調査・研究など、安心・安全でおいしい給食の提供がで

きるように努めたいと考えています。

このほか、中心市街地のまちづくり、学校等適正配置計画の見直し、コロナ禍での経済および生活支援策について質問しました。

このほか、高齢者や基礎疾患を持つ方へのPCR検査費用の助成、生活保護の扶養照会、特別支援教育にかかわる教師の体制について質問しました。



木村 清隆 議員

清郷会



SDGsつくば市の取り組みについて

質問 つくば市は、2030年の持続可能な都市の実現を目指し「持続可能都市ビジョン」を公表していますが、①「つくば市SDGs未来都市計画」にある2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴールに対する五つの柱の各指標、②ステークホルダーとの連携、それぞれ具体的な取り組み状況について伺います。

答弁 ①「こどもの未来」は、14カ所で299人に対し学習支援を行い、児童生徒自らが必要

とされることを感じられる学級作りをして自己肯定感を高め、プロジェクト型の学習により共同して課題を解決する力を高めています。「包摂的な社会」では、地域包括支援センターを今年度2カ所増やして現在7カ所とします。「価値の創造と継承」では、新規創業者数増加に向けて創業相談や助成を行っています。「誰もが使いやすいインフラ」では、住宅施策や基盤整備、交通環境整備などの各種施策に取り組みます。「循環と環境保全」では、

低炭素対策導入の建物の建築などへの補助や、環境に対する市民意識を向上させる取り組みを実施しています。②国内ではつくばSDGsパートナーズの取り組みや筑波山地域ジオパーク推進協議会として周辺自治体と連携しており、国際的連携としてはフランスのグルノーブル市、グルノーブル都市共同体、つくば市の3者連携合意書を締結して海外とのネットワーク構築を進めるなどしています。

このほか、新型コロナウイルス感染症に関しての対応とワクチン接種について質問しました。



浜中 勝美 議員

公明党つくば



コロナワクチン接種体制について

質問 新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ一つの有効な手段となり得るワクチン接種が、医療従事者から先行して開始され具体化されてきました。ワクチン接種で期待されるメリットは、感染予防、発症予防、重症化予防です。副作用をコントロールして集団免疫ができれば新たな感染者の減につながり、大規模な経済活動の制限をせずに済むと思います。ワクチン接種体制に関して①具体的なスケジュール、②市内に住民票がない人の

対応、③ワクチン廃棄を減らす方策、④接種体制、⑤周知方法について伺います。

答弁 ①ワクチンの供給開始時に希望する市民へ速やかに接種が始められるよう現在準備を進めており、市内におけるワクチン接種は、医療従事者を対象に3月から開始し、4月から65歳以上の高齢者、その後に基礎疾患を有する方、それ以外の方の順に進める予定です。②住民票所在地の市町村に所在する医療機関での接種が原則ですが、

入院、入所中の方や災害により避難した方などは、例外的に住民票所在地以外で接種できます。③接種時に必ず予約を取ることや、体調不良などで接種できない場合は代替りの人が受けられるような体制が必要と考えています。④病院や診療所などで接種する個別接種を基本とし、保健センターなどでの集団接種も検討しています。⑤個別送付する接種券にワクチン接種のお知らせを同封するとともに、市広報紙、ホームページ、区会回覧などで周知します。

このほか、高齢者等買物支援事業、行政手続の押印廃止について質問しました。



中村 重雄 議員

新緑会



市内教職員の働き方改革について

質問 現在の教職員の勤務状況を伺います。

答弁 令和元年度と令和2年度(休校の影響のない9月以降)を比較すると、超過勤務職員数は若干減少しており、10月以降の45時間超過の割合も昨年と比較しても減少しています。今後、パソコンを使った校務支援システム活用の充実、研修のオンライン化、文書のデジタル化など、教職員の働き方改革をより一層推進していきます。

質問 基崎中学校や高崎中学校

答弁 令和2年度はハンドボール、ソフトテニス、卓球、吹奏楽で、部活動日のうち月2、3回、地域の指導者などが教員に代わり指導することで、子どもたちの充実した部活動を支援し、教師の部活動指導の軽減を図る取り組みを実施しており、令和3年度においても同様の取り組みを予定しています。

質問 国立研究開発法人産業

技術総合研究所が行っている出前講座・実験教室について伺います。

答弁 市では、科学技術の普及啓発推進のため、市内の研究機関の研究者が学校に出向いて講義や実験を行う科学出前レクチャーを実施しています。内容についての評価が高いことや、実験の準備などで教員の負担軽減につながっているため、今後学校において積極的に活用されるよう進めていきます。

要望 引き続き、教職員の働き方改革を進めるとともに、各事業を広めていただき、魅力的な教育現場の実現に取り組むことを要望します。



金子 和雄 議員

新社会党つくば



特別支援教育の取り組みについて

質問 共生社会の実現に向け、保護者の声を生かす要望に近づける取り組みの中で、障がいのある児童・生徒と、障がいのない児童・生徒がともに学び合う環境を整え、自立や社会参加を目指す一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や配慮、支援ができるような対策が取られています。私は、以前から関係者とその実現に向けて関わってきましたが、これまでの取り組みと近年の実績・状況について詳細に伺います。

答弁 市では、将来の共生社会につながる特別支援教育を、認め合い、学び合い、育ち合う教育の推進と捉えています。これを実現するためには、全ての教職員がその理念を理解し、力を合わせて取り組む必要があります。そこで、管理職や特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の強化や研修の充実を図っています。また、通常学級においては、一人一人の違いを認め合い、協力し合う学級経営や、誰もが分かるユニ

バーサルデザイン授業を目指しています。さらに、積極的な交流および共同学習の実施により、障がいのある人への理解を深め、豊かな人間性や多様性を尊重する態度を養うよう努めています。



このほか、つくばセンタービル周辺のリニューアル、福祉都市宣言、実証実験が進む筑波地区の支線型バスの利用、新型コロナウイルス対策について質問しました。



山本 美和 議員

公明党つくば



公立高校の進学・通学難の対応

質問 大学進学に力を入れて
いる県立高校の多くが市外にあ
り、土浦・牛久・下妻・常総な
ど、公共交通機関などでの通学
は不便で、社会情勢的にも家族
の送迎が困難な状況です。これ
を受け、市議会から県に意見書
を提出しましたが高校新設など
の意向は示されていません。つ
くばの教育に期待し移住する方
が多い中、小中学校だけでなく
高校も足りないことは大問題で、
市立高校の設置を考えなければ
ならない状況と考えますが、市

答弁 令和元年度における市
内公立中学校卒業者の高校進学
者のうち、公立高校への進学が
68・8%、私立高校への進学が
31・2%となっています。また、
公立高校への進学者のうち、つ
くば市内の高校へ進学した割合
は25・3%です。市外では、多
い順に、土浦市24・6%、牛久
市15・1%、常総市9・7%、
下妻市7・1%、そのほか18・
2%となっています。市立高等
学校の設立および運営は、大規

模な設備投資やランニングコス
トが伴います。現在、児童生徒
数の急増に対応するため小中
学校の建設が差し迫っており、今
後、市の財政状況などを見据え
ると市立高等学校の設置は難し
いと考えています。



このほか、障がい者の就労支
援、子どもの貧困対策(学習支
援・食の支援)、幼稚園類似施
設の幼児教育無償化、新たな文
化財指定の考えについて質問し
ました。



塚本 洋二 議員

自民党政清クラブ



各種コロナ対策について

質問 市が行うコロナ禍の各
支援策の申請状況と今後の方策
について伺います。

答弁 市独自支援策の申請件
数は、事業継続給付金が89件、
販路拡大補助金が64件、雇用促
進交付金が106件、タクシー
買物代行が122件、テイクア
ウト支援給付金が759件、テ
ナント等支援補助金が61件と
なっています。次に、経営支援
ワンストップ窓口については、
各種支援制度の要件確認、自己
に最適な制度の照会、販路拡大

ネスモデルへの転換事業が多く
を占めています。具体的には、
インターネット販売のための新
商品、新サービスの開発や独自
ホームページの構築、飛沫対策
のためのパーティションや空気
清浄機の設置、無人对応化のた
めのキャッシュレスや顔認証シ
ステムの導入など多岐にわたっ
ています。

計画の策定など、1日平均28件、
延べ4088件の相談実績を上
げています。次年度以降も事業
者のニーズに即した支援を行う
ため、窓口寄せられる声に耳
を傾け、制度内容を柔軟に見直
しながら、市内企業に寄り添っ
た事業を継続して実施してい
ます。

質問 中小企業等販路拡大補
助金について、活用事例や導入
事例を伺います。

答弁 新型コロナウイルス感
染症対策としての非対面型ビジ

要望 経営ワンストップ窓口
について、コロナの影響を受け
た事業者の方々が相談をする窓
口として、経営に不安のある方
や新たな事業展開を考える方へ
の対応や支援策などの検討を今
後もお願いいたします。



高野 文男 議員

創生クラブ



荊崎庁舎跡地・利活用について

質問 昨年の8月の住民説明
会において「公共施設を併用し
た商業施設」の3つの整備案が
提示されましたが、今後の進め
方について伺います。

答弁 荊崎庁舎跡地利活用に
関する地元説明会では、商業施
設を歓迎する、早く進めてほし
いという意見が多くありました。
一方で、引き続き集団健診など
を荊崎地区で実施してほしいと
いう意見もあったことから、現
在、保健事業を荊崎地区で実施
できるよう担当部署で検討して

います。今後、その結果を踏ま
え、また地域の意見を伺いなが
ら、事業者公募に向けて検討を
進めます。

質問 荊崎保健センターの機
能が谷田部保健センターに移管
された後の、現在の荊崎保健セ
ンターの機能について伺います。

答弁 荊崎保健センターには、
現在保健師を配置していません
が、荊崎地区における集団健診、
健康相談、体操教室や調理講習
などの保健事業は、継続して実
施しています。

要望 移転先に保健師常駐の
検討をしていただけるよう要望
します。

このほか、令和元年に国土交
通省から選定され実証実験中の
スマートシティ・モデル事業の
取り組みについて質問しました。



あさの えいこ 議員

つくば・市民ネットワーク



ごみの最終処分場がSOS!

質問 ごみは燃やして終わり
ではなく、その灰を埋め立てる
などして「最終処分」する必要
があります。つくば市は灰を下
妻市、一部は280kmも離れた
山形県米沢市の施設まで運んで
処分を委託しています。一般廃
棄物処理基本計画では下妻市の
施設は残余5年。施設閉鎖が間
近というまさに緊急事態です。

答弁 下妻市の処分場がいよ
いよというときには、様々な選
択肢があるかと思えます。この
選択肢に関してはやはり市民の
皆様を交えて協議を検討してい
きたいと考えています。

質問 市長は最終処分場の延
命を図るために、今年は何から
着手される予定でしょうか。

答弁 昨年、担当課を交
え、どうやって本気でごみを減
らしていくかについての協議や、
先進事例の調査結果を踏まえ、
つくば市としてどういったこと
が取り組めるかといった議論を
行ってきています。その中で一

番重要なのは、市民とともにそ
ういうことを進めていくことだ
と思っており、例えばダンポー
ルコンポストは可能性があるか
など、市民が一つに意識を向け
ると連鎖的に進んでいくものだ
と思っています。知ってもらっ
ということが非常に重要なため、
新しく「かわら版」という紙面
を準備し、その中でごみの現状
についても、できるだけ詳しく、
わかりやすく伝えていくところ
から来年度始めていきたいと考
えています。

このほか、プレイパークを市
民・行政協働で実施するための
課題について質問しました。



川村 直子 議員

つくば・市民ネットワーク



性的少数者の人権を尊重する取り組みについて

質問

性的少数者（LGBT）は人口の8〜10%といわれ、幼い頃から周囲の偏見などによっていじめの対象や不登校になる可能性が高く、自ら命を絶ってしまうケースも少なくありません。

回答

①令和元年8月に策定したつくば市自殺対策計画には、性的少数者に関する記載はありませんが、令和4年度の間評価の際には反映します。

②子どもへの理解を深める研修については、教職員をはじめとする子どもに関わる仕事に携わる者にとって、大変重要であると考えています。そこで、教職員、スクールカウンセラー、特別支援教育支援員の研修の中で、人権教育の研修の一つの課題として、

性的少数者への理解を深める研修を行っています。しかし、性的少数者に特化した研修はまだ多くは行っていません。今後は外部研修会への参加や効果的な研修資料の活用などを促し、教職員の理解を深めていきます。

性的少数者への理解を深める研修を深める内容のお便りを小中学校の教職員や保護者へ配布することや、自治会回覧を要望します。



皆川 幸枝 議員

つくば・市民ネットワーク



小中学校への一人一台タブレット導入に伴う電磁波による健康影響について

質問

この春に各小中学校へ一人一台の端末が設置されますが、機器の使用には配慮が必要ですが、対応策について伺います。

回答

教室などに設置する端末42台を収納する充電保管庫設置場所は学校の環境により異なりますが教室の前面やオープンスペースなど児童生徒の動きに支障のない場所に金具で固定します。

電磁波については、測定する予定はありません。導入前に納入業者から人体に影響を及ぼすような電磁波は出ていないとの説

明を受けています。WiFiアクセスポイントについては、国の要件に従い、1教室あるいは2教室に1台の割合で設置しています。仕様は縦横約17センチ、厚さ約5センチの箱型で、設置場所は廊下の天井に近い壁面上部になります。設置については3月1日までに完了する予定です。児童生徒に配付する学習者用端末については、画面サイズが10.1センチで、液晶部分が取り外しできる2in1のノートパソコンです。OSはWindows

このほか、原発災害の際の茨城県広域避難計画に基づく水戸市との協定、学校給食のあり方について質問しました。

電磁波は低線量でも長時間浴び続けることで体への影響が指摘されています。国内で電磁波過敏症の方々が出てきており、発達段階である子どもへの影響が大きいとも言われています。学校での電磁波測定と健康調査の実施を強く要望します。

第1回臨時会

令和3年1月18日に開催し、報告1件、議案1件を審議しました。



議案審議状況と議決結果

【議案第1号】令和2年度つくば市一般会計補正予算（第13号）

歳入歳出予算 5,435万3,000円の増 → 総額 1,219億4,383万4,000円

主な歳出内訳

1 新型コロナウイルスワクチン接種体制整備事業

補正予算額 2,565万5,000円

速やかに予防接種を開始できるよう体制を整備する。



2 特別成人祝金

補正予算額 2,869万8,000円

成人の集いの中止に伴い一人につき1万円の特別成人祝金を交付する。

令和3年第1回臨時会議案等議決結果一覧

報告案件	
【報告第1号】	専決処分事項の報告について
案件名	
【議案第1号】	令和2年度つくば市一般会計補正予算(第13号)
	議決結果
	原案可決(全会一致)

質疑・討論

【議案第1号】令和2年度つくば市一般会計補正予算(第13号) 原案可決

質疑 ワクチン接種のスケジュールについて

回答 現時点の目安となるが、厚生労働省では接種の優先順位を踏まえ、接種体制を整えるよう市町村へ示している。最初に感染者と直接関わる医療従事者や救急隊員、保健所職員などは早ければ2月下旬から、65歳以上の高齢者は早ければ3月下旬からとなり、基礎疾患がある方や高齢者施設など

の従事者、60歳から64歳までの方はそれ以降となる見込みである。

質疑 補正予算の内訳について

回答 予診票などの印刷代として約360万円、接種券など個人通知代として約420万円、システム改修・接種券作成処理業務委託料として約1600万円、超低温冷凍庫購入費として約150万円の合計約2600万円である。財源はすべて国庫補助金である。

お詫びと訂正

つくば市議会だより第165号の一部に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正いたします。

【6P】一般質問 あさのえくこ議員 上から3段目囲み枠

「このほか・・・」→削除



で、市議会だよりを閲覧できます。

アプリでも市議会だよりを閲覧できるようになりました。右のQRコードからアプリのインストールをお願いします。なお、掲載は前回号(第165号、令和3年2月1日発行)からとなります。



行政が発信する情報・広報紙などを見ることができるアプリです。



電子文書閲覧アプリ内で、自治体が発信する広報紙などを閲覧できます。



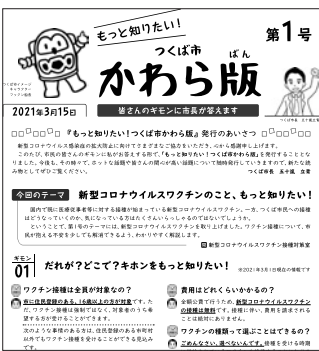
委員会審査

総務分科会

【議案第8号】令和3年度つくば市一般会計予算

質疑 総務費 広報デザイン事業に要する経費の市政かわら版配布事業の目的・概要について

答弁 市民への市政情報の速報性を高め、深く市政を知っていただくため区会などに印刷物を配布する。事業費は印刷製本費188万1千円で、仕様はA3版二つ折り、両面印刷、一色刷りで、ホームページにも掲載する予定である。



つくば市かわら版

総務委員会

【議案第17号】つくば市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 今改正に該当する会計年度任用職員の人数について

答弁 該当者が10名強となる。

3月定例会にて、4常任委員会および予算決算委員会に付託された議案など41件を審査するため、委員会・分科会を開催しました。

文教福祉分科会

【議案第8号】令和3年度つくば市一般会計予算

質疑 民生費 保育所運営に要する経費の①公立保育所主食提供事業に関して保育所で調理した主食の提供理由、②4保育所の選定理由、③今後について

答弁 ①子どもたちに温かく安全な主食を提供するため、自園調理と外部委託の両面から検討してきたが、保護者へのアンケート調査や実証実験、業者への聞き取りなどを行った中で、厚生労働省の大量調理施設衛生管理マニュアルに10度以下または65度以上の温度管理が必要とあり、外部委託では、マニュアルの遵守が難しく、自園調理で提供することとした。

②北条・真瀬・上横場保育所では、事前に調理室の広さや設備備品などを調査した結果、自園調理での提供が可能と判断した。吾妻保育所は、調理室が狭く、自園調理が難しいと判断したが、ほかの保育所の課題の抽出と検証のため選定した。

③令和4年度に10保育所、令和5年度に9保育所で主食提供を開始し23保育所で実施する予定である。

文教福祉委員会

【議案第21号】つくば市敬老祝金給付条例の一部を改正する条例について

質疑 今回の条例改正に至る要因となった敬老祝金対象の高齢者の推計値について

答弁 つくば市未来構想での75歳以上の人口推計は、2020年が約2万4千人、2025年が約3万1千人、2030年が約3万6千人である。

賛成討論 給付金対象者が急増している以上、社会情勢に応じたメリハリある制度設計が必要であるため賛成する。

市民経済分科会

【議案第8号】令和3年度つくば市一般会計予算

質疑 商工費 観光施設整備に要する経費の①デジタルサイネージシステム構築委託料と②筑波山観光案内所改築工事の内容について

答弁 ①新型コロナウイルス収束後のインバウンド需要を見据え、観光案内所内にタッチパネル式大型ディスプレイのデジタルサイネージを設置し、観光情報や交通情報など、多言語を含めた案内サービスを予定している。

②観光案内所は、築35年が経過して老朽化しており、筑波山のインバウンド需要の高まりが期待できるとに加え、案内所向かいの第2駐車場トイレも老朽化して観光客からも不満の声があったことから、経済面も考慮し、案内所改修に合わせて公衆トイレを併設する。



改修前の筑波山観光案内所

市民経済委員会

請願3第2号「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書

意見 女性の自殺者が増えているのはコロナ禍での解雇が原因で、韓国では賃金の引き上げで解雇が増加しており、賃金を上げるだけでは解決せず、状況が悪化する可能性がある。気持ちは十分わかるが、この文面には反対であるため趣旨採択が妥当である。

都市建設分科会

【議案第8号】令和3年度つくば市一般会計予算

質疑 衛生費 公害対策に要する経費の臭気測定調査委託料に関する調査回数・測定場所について

答弁 みどりの地区で季節ごとに4回調査を行う。令和2年度は冬に測定を、令和3年度は春夏秋に測定を実施する。測定場所は6カ所を予定している。

質疑 土木費 学園地区市街地振興に要する経費のつくばセンタービル公共施設改修設計業務委託料の内容について

答弁 現在、センタービルリニューアルの基本計画を策定しており、その基本計画を踏まえ、来年度、実施設計を行うための予算である。

都市建設委員会

【議案第27号】つくばセンター広場条例の一部を改正する条例について

質疑 当条例の目的および条例改正の理由について

答弁 地方自治法第244条の2の規定で当条例が制定されている。現在のアイアイモールは、にぎわいのための施設に位置付けられているが、つくばセンタービルリニューアルで公共施設である市民活動拠点および働く人を支援する場となり、目的と異なる施設となるためインナープラザなどを除外する。新たに市民活動拠点となる公共施設はリニューアル整備後に市民活動拠点に関する条例の施設と位置付ける予定である。また、働く人を支援する場合は、これまで全員協議会などで説明してきたように、地域運営会社に貸し付けて整備運営することが市の財政上および運営上好ましいと考え、普通財産で貸し付ける予定である。

反対討論 機会があったにも関わらず条例改正の説明が無かったことに不信感を感じている。改正せずとも貸し付けができるため、今改正し行政財産を手放す必要はないと考える。

賛成討論 普通財産に変更しても所有権は市にあり、手放すわけではない。実態に合わせるため、条例改正は必要であると考える。

予算決算

【議案第8号】 令和3年度つくば市一般会計予算

▼審査結果 可決すべき

【質疑】 市民サービスや施設建設の根拠となる人口推計について、どのように把握して予算編成に活用したのか

【答弁】 現在の人口推計は、令和2年3月に改定したつくば市未来構想で、人口ビジョンとして示しているものである。予算編成においては、歳入では市税や各種交付金の積算に、歳出では扶助費等の積算や施設の規模の判断材料として人口推計を活用し、ほかにも制度変更や決算実績などから分析を行い、予算を編成している。また、中長期的な財政見通しを立てる際の重要な基礎データとしても人口推計を活用している。

原案に対し2件の修正案が提出されました。

概要		提出者	議案第8号
共通部分	つくばセンタービル公共施設改修設計業務予算の削除	橋本佳子委員 山中真弓委員	修正案A
相違部分	(仮称)新校舎校給食センター建築関係予算の削除	飯岡宏之委員 鈴木富士雄委員 塚本洋二委員 宮本達也委員	修正案B
		結果	採決
			否決

【意見】 移動スーパーや経営支援窓口ワンストップサービスについて予算計上され、また、長年の課題であった公共施設のマネジメント費用についても予算計上されるようになってきたことは一歩前進である。一方、敬老祝金については再考の余地があると考えられる。市は人口が増加している。市は人口が増加していることを恵まれた自治体であることを認識し、毎年あるいは半期ごとの確かな人口算出を行ってほしい。

【反対討論】 つくばセンタービルのリニューアルはじめ、今回の予算には理解できない内容がいくつもあり、敬老祝金給付75歳以上の打ち切り、職員1人につき150万円のコーチング研修、固定給でのまちづくりアドバイザー報酬など、議会が行政に問うべき予算が多々ある。議会として

納得できる予算立てがないまま原案を通すことは疑問に思うので反対する。

【賛成討論】 今回の当初予算は全て必要な予算と考える。特に、中心市街地については、ここ数年、つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会や勉強会を行っており、また、4月からは日本エスコンがクレオ棟をリニューアルオープンする。まちづくり会社は民間だが、市の考えが反映されるのは間違いない。日本エスコンと両輪同時に回してはじめて中心市街地が活性化すると思うので原案に賛成する。

議案等審議

【議案第21号】 つくば市敬老祝金給付条例の一部を改正する条例について

原案可決

【反対討論】 今回の改正案は、毎年75歳以上の高齢者へ敬老祝金3千円の商品券を贈呈することをやめ、77歳、88歳、100歳、101歳以上の節目の祝金のみにする削減案である。

コロナ禍において、各自治体が損害の一部を補填または個人消費を奨励する経済対策を行っているが、今回の改正

案は、これらの事業とは反対に、対象となる高齢者人口が多いために毎年行っていた祝金を中止するものである。コロナに感染すると重症化すると言われ、若い方々より苛酷な状況にある高齢者の方々を元気づける敬老祝金を中止するのはあまりにも冷たい対応である。紙の商品券である敬老祝金は電子マネーに慣れない高齢者の方にも喜ばれ、消費率も高く、コロナ禍の経済対策としても非常に有効と考えるので反対する。

【賛成討論】 この条例改正は、超高齢化社会の進展による対象者の急増に伴い、財政負担の増加が見込まれることから、節目年齢支給へと対象年齢を見直すものである。今までもらえていたものがなくなるので、楽しみにされている方々のことを考えると、苦しい思いがある。しかし、この条例改正は、節目ごとに祝金を支給し、御高齢の皆様を祝い、敬うという趣旨は保たれており、県内他自治体と比較しても同等の制度設計になると思われる。社会情勢の変化に応じて弾力ある財政運営を行うために、めり張りある制度の構築は必要なので賛成する。

令和3年3月定例会議員賛否一覧 (議案などに対して賛否の分かれたものを、議員からの申し出に基づき掲載しています。)

議案等番号	つくば自民党・新しい風					自民党政清クラブ					つくば・市民ネットワーク			公明党つくば		日本共産党つくば市議団		勝	つ	新緑	創	清	山	新社			
	長塚 俊宏	黒田 健祐	神谷 大蔵	小久保 貴史	五頭 泰誠	久保谷 孝夫	宮本 達也	木村 修寿	塚本 洋二	飯岡 宏之	鈴木 富士雄	川村 直子	あさの えくこ	小森谷 さやか	皆川 幸枝	山本 美和	浜中 勝美								小野 泰宏	山中 真弓	橋本 佳子
議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第2号	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第3号	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 「○」は賛成、「×」は反対、「退」は退席。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わりません。
 ※ 会派名(議席番号順) 勝=勝手にひとりの会 つ=つくばチェンジチャレンジ 新緑=新緑会 創=創生クラブ 清=清郷会
 山=山中八策の会 新社=新社会党つくば

令和3年3月定例会議案等議決結果一覧

報告案件		案件名		議決結果
【報告第2号】	専決処分事項の報告について	【議案第46号】	つくば市副市長の選任について	同意
【報告第3号】	専決処分事項の報告について	【議案第47号】	つくば市等公平委員会委員の選任について	同意
【報告第4号】	専決処分事項の報告について	【議案第48号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
	案件名		議決結果	
【承認第1号】	専決処分事項の承認を求めることについて(専決処分第4号)	【議案第49号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
	案件名		議決結果	
【議案第2号】	令和2年度つくば市一般会計補正予算(第15号)	【議案第50号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第3号】	令和2年度つくば市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	【議案第51号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第4号】	令和2年度つくば市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	【議案第52号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第5号】	令和2年度つくば市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	【議案第53号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第6号】	令和2年度つくば市水道事業会計補正予算(第3号)	【議案第54号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第7号】	令和2年度つくば市下水道事業会計補正予算(第3号)	【議案第55号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第8号】	令和3年度つくば市一般会計予算	【議案第56号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第9号】	令和3年度つくば市国民健康保険特別会計予算	【議案第57号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第10号】	令和3年度つくば市後期高齢者医療特別会計予算	【議案第58号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第11号】	令和3年度つくば市作岡財産区特別会計予算	【議案第59号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第12号】	令和3年度つくば市等公平委員会特別会計予算	【議案第60号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第13号】	令和3年度つくば市介護保険事業特別会計予算	【議案第61号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第14号】	令和3年度つくば市水道事業会計予算	【議案第62号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第15号】	令和3年度つくば市下水道事業会計予算	【議案第63号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第16号】	つくば市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	【議案第64号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第17号】	つくば市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	【議案第65号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第18号】	つくば市税条例等の一部を改正する条例について	【議案第66号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第19号】	つくば市公共施設の暴力団等排除に関する条例の一部を改正する条例について	【議案第67号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第20号】	つくば市福祉支援センター条例の一部を改正する条例について	【議案第68号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第21号】	つくば市敬老祝金給付条例の一部を改正する条例について	【議案第69号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第22号】	つくば市指定地域密着型サービスの指定基準に関する条例の一部を改正する条例について	【議案第70号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第23号】	つくば市指定地域密着型介護予防サービスの指定基準等に関する条例の一部を改正する条例について	【議案第71号】	つくば市農業委員会委員の任命について	同意
【議案第24号】	つくば市指定居宅介護支援事業等に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	【議案第72号】	つくば市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
【議案第25号】	つくば市指定介護予防支援事業者の指定基準等に関する条例の一部を改正する条例について	【議案第73号】	つくば市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
【議案第26号】	つくば市介護保険条例の一部を改正する条例について	【議案第74号】	つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【議案第27号】	つくばセンター広場条例の一部を改正する条例について	【議案第75号】	つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【議案第28号】	つくば市筑波山おもてなし館条例の一部を改正する条例について	【議案第76号】	つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【議案第29号】	つくば市荃崎こもれび六斗の森条例の一部を改正する条例について	【議案第77号】	つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【議案第30号】	つくば市筑波ふれあいの里条例の一部を改正する条例について	【議案第78号】	つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【議案第31号】	つくば市路外駐車場条例の一部を改正する条例について	【議案第79号】	つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【議案第32号】	つくば市水道給水条例の一部を改正する条例について	【議案第80号】	つくば市政治倫理審査会委員の任命について	同意
【議案第33号】	つくば市火災予防条例の一部を改正する条例について		委員会提出議案	議決結果
【議案第34号】	つくば市消防団の定員、任免、報酬、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	【委第1号議案】	つくば市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第35号】	つくば市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例について	【委第2号議案】	つくば市議会請願条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第36号】	つくば市荃崎憩いの家条例を廃止する条例について		請願	常任委員会
【議案第37号】	市道路線の認定について	【請願3第1号】	ゼロカーボンシティ宣言に関する請願	都市建設
【議案第38号】	市道路線の廃止について	【請願3第2号】	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	市民経済
【議案第39号】	市道路線の変更について		意見書・決議	議決結果
【議案第40号】	財産の取得について	【意見書案第1号】	新型コロナウイルスワクチン接種に関する意見書	原案可決
【議案第41号】	新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	【意見書案第2号】	新型コロナウイルス感染症拡大防止へ大規模検査の実施を求める意見書	原案可決
【議案第42号】	作岡財産区管理委員の選任について	【意見書案第3号】	新型コロナウイルス感染症拡大防止へ大規模検査の実施を求める意見書	原案可決
【議案第43号】	令和2年度つくば市一般会計補正予算(第16号)			
【議案第44号】	つくば市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例について			
【議案第45号】	工事委託契約の変更について			

議案結果などの詳細は左のQRコードからご覧いただけます。



議案の審議状況と議決結果



請願一覧



意見書・決議一覧



筑波山地域ジオパーク再認定！
さらなる発展に向けて

◆委員長あいさつ

ジオパーク推進特別委員会は「筑波山地域ジオパーク」のさらなる推進に向けた調査研究をするため、つくば市議会において令和2年12月議会で設置されました。

今年2月には念願の再認定を受けることができました。今後更に『市議会でしたくない』ジオパーク推進活動を通し、地域振興はもとより、観光資源としての結びつきを広域的観点から展開してまいります。また、これまで培ってきた6市議会との連携を活かし、筑波山地域の一体的発展に大きく寄与してまいります。今後の展開にご期待ください。

ジオパーク推進特別委員長
神谷 大蔵

ジオ写真集



新緑の筑波山



崎浜ジオサイト (かすみがうら市)での現地研修会 (2019年1月31日)



ガマ石



女体山頂の斑レイ岩

筑波山地域ジオパーク再認定までの活動状況

2016年	9月9日	筑波山地域ジオパーク認定
2018年	10月24日	筑波山地域ジオパーク6市議会議員連盟協議会をつくば市議会が発起人となり設立 (つくば市)
2019年	1月31日	筑波山地域ジオパーク6市議会議員連盟協議会総会・研修会開催 (かすみがうら市)
2020年	11月10日 12月25日	筑波山地域ジオパーク6市議会議員連盟協議会総会開催 (つくば市) つくば市議会にジオパーク推進特別委員会設置
2021年	1月13日～15日 2月5日	再認定に向けてのヒアリング 再認定決定

●筑波山地域ジオパークとは

茨城県中南部に位置する石岡市笠間市、つくば市、桜川市、土浦市、かすみがうら市の6市のエリアから構成され、日本百名山にも選ばれている「筑波山」をはじめ、日本第2位の湖面積を誇る「霞ヶ浦」や日本最大の平野「関東平野」など、日本を代表する大地の遺産を築するジオパーク。2016年に国内で41番目の日本ジオパークに認定され、2021年2月5日に再認定をされた。

●筑波山地域ジオパーク6市議会議員連盟協議会とは

6市議会が緊密な連携の下に、筑波山地域ジオパークの推進に向けた協力体制を確立し、その連携を図り、6市の発展に資することを目的とし2018年10月24日に設立。筑波山地域ジオパークの推進の要望活動や筑波山地域ジオパークの連携体制の強化などの事業を行っている。



筑波山地域ジオパーク HP

動画配信中

令和3年3月31日から動画を公開しております。ぜひ、ご覧ください。
なお、いただいたご質問のうち動画の中でお答えしたもの以外は、後日、ホームページで回答いたします。

令和二年度
議会報告会

つくば市議会チャンネル
ご登録
をお願いします



つくば市議会チャンネル



広報広聴委員

委員長	黒田 健祐
副委員長	高野 文男
委員	小村 政文
委員	宮本 達也
委員	山中 真弓
委員	神谷 大蔵
委員	皆川 幸枝
委員	山本 美和

傍聴される方への
お願い



市議会
ページ

- ▶必ずご**自宅で検温**をお願いします。発熱などの症状がある方や体調の優れない方は傍聴をご遠慮いただくをお願いします。
- ▶**マスクの着用**をお願いします。
- ▶傍聴受付の**消毒液を活用**してください。

⚠当面の間、傍聴できる人数は、**24名まで**とさせていただきます。

議会中継
映像配信



録画放映
ページ

- ▶本会議(定例会・臨時会)の開催時間は生中継をご覧いただけます。
- ▶本会議開催日ごとに、3日後(休日を除く)から録画映像を視聴することができます。
- ※委員会は配信していません。

☎議会事務局議会総務課
029-883-1111
(内線 6110・6120・6130)

